

ウェザーアクト処理

NETIS 旧登録番号
No.SK-980005-VE
『設計比較・活用促進技術』

- ◆ 腐食防食協会 論文賞 (1996年度)
- ◆ 鉄鋼協会 依論文賞 (1998年度)
- ◆ 大阪技術发明賞 優秀賞 (2001年度)
- ◆ 日本鋼構造協会 業績賞 (2002年度)
- ◆ 日本金属学会 技術開発賞 (2002年度)
- ◆ 全国发明賞 (2003年度)
- ◆ 市村産業賞 貢献賞 (2004年度)

☘ JIS耐候性鋼材(JIS G3114)の保護性さび生成促進処理剤

ウェザーアクトの概要

耐候性鋼材は、長期にわたる乾湿の繰り返しにより、その表面に緻密で安定したさびを形成しますが、裸仕様の適用条件は、

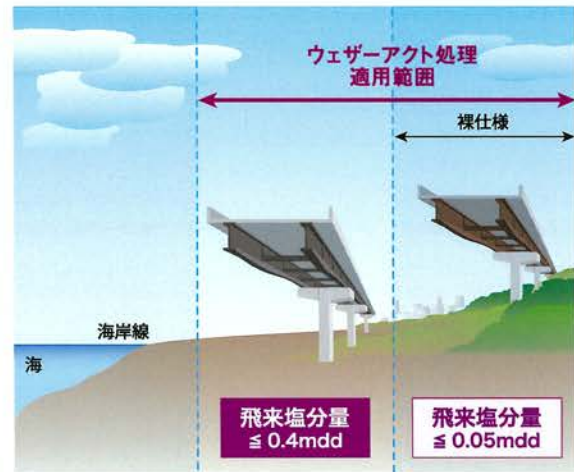
飛来塩分量 ≤ 0.05mdd

となっています。 (mdd: mg / 100cm² / day)

ウェザーアクトは、耐候性鋼材の表面にクロム置換ゲーサイト(保護性の高いさび層)を早期に形成できる表面処理剤で、適用範囲は

飛来塩分量 ≤ 0.4mdd

まで拡大します。



特長

➤ 腐食速度の低減

短期間で促進的に保護性さびを形成するため、耐候性鋼材の腐食速度をさらに低減します。

➤ 厳しい環境下でもさびの安定化を実現

塩分環境下および結露環境下においても、さびの安定化が実現できます。

➤ 維持管理費用が不要

塗り替え等のメンテナンス費用が不要になります。

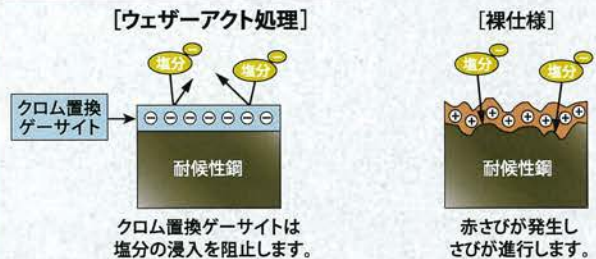
➤ 景観性の向上

初期の赤さび、流れさびを抑制するので、裸仕様に比べ、初期の景観性が向上します。

経年変化例(大気暴露)



塩分環境下での処理効果

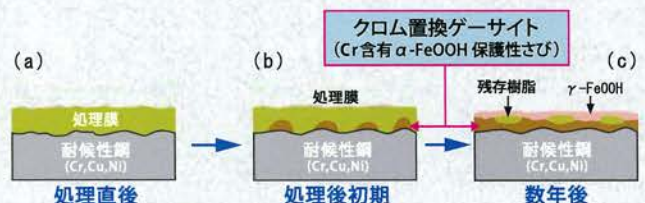


処理実績

- 国土交通省/NEXCO/地方自治体: 212万m² (2019.1月現在)



保護性さびの生成プロセス



※ウェザーアクト処理は、P S処理剤とF S処理剤の2層処理によりその性能が発揮されます。膜厚管理は各層ごとに実施いただきますようお願いいたします。詳しくは2019.4月版の施工要領書をご参照ください。